

題名：横浜労災病院で vNOTES 卵巣腫瘍摘出術を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	卵巣腫瘍に対する vNOTES 卵巣腫瘍摘出術の適応選択(-)
当院の研究責任者 (所属)	石坂 麻莉 (産婦人科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	vNOTES (Vaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery) による卵巣腫瘍摘出術は低侵襲手術として注目されているが、適応基準は明確ではない。本研究では当院の適応条件に基づき、良性卵巣腫瘍と術前診断した症例に対する vNOTES 卵巣腫瘍摘出術の手術成績を検討する。
研究の方法 (利用する試料・情報)	2024 年 6 月から当院で施行した vNOTES 卵巣腫瘍摘出術のうち、術前検査で良性卵巣腫瘍と判断した症例を対象に後方視的検討を行う。主要評価項目は手術完遂率とする。年齢、身長、体重、経産回数、術前採血、既往歴、手術歴、合併症といった背景因子、手術時間、出血量、組織型、周術期合併症といった手術に関するデータを診療録から収集する 研究実施期間：2024 年 5 月～ 2025 年 3 月
利用する試料・情報の 該当期間	2024 年 6 月～ 2025 年 4 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関への提供なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

(利益相反)	
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：石阪麻莉 (所属：産婦人科)
備考	